

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2001-297232

(43)Date of publication of application : 26.10.2001

(51)Int.Cl.

G06F 17/60

(21)Application number : 2000-113380

(71)Applicant : NEC CORP

(22)Date of filing : 14.04.2000

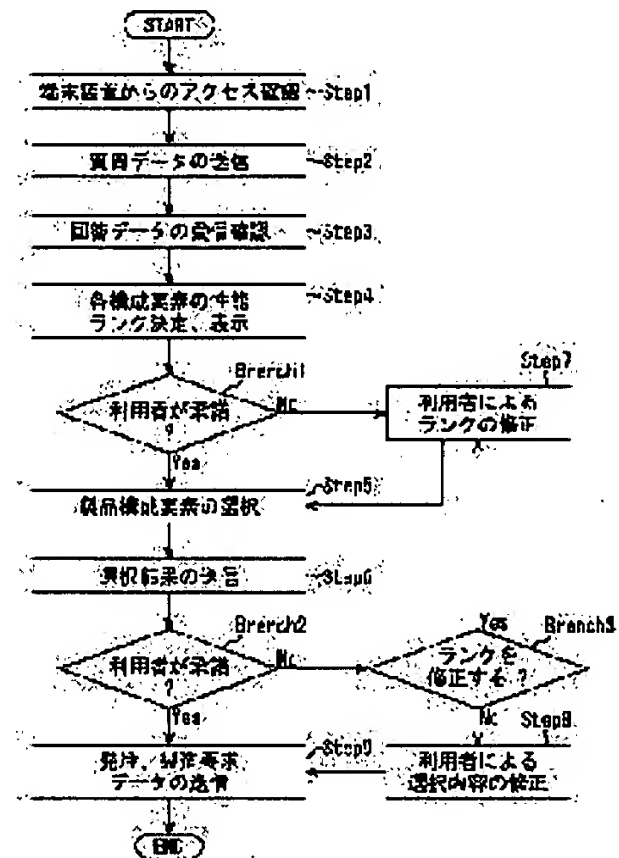
(72)Inventor : OSHIMOTO ATSUSHI

(54) ORDER RECEPTION SYSTEM WITH PLURAL COMPONENTS

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide an order reception system which makes it possible to individually specify and purchase components of personal computer and complete the personal computer without the detailed knowledge of the components.

SOLUTION: This system is equipped with a component information storage means (database) which stores information by components of personal computers, a question information transmitting means (question data transmitting function) which sends question information regarding a personal computer as an orderer gains accesses, a performance rank table generating means (choice standard estimating function) which generates a component rank table of the performance of optimum components adapted to answer contents, and an optimum component selecting means which selects optimum components corresponding to an orderer's desire from a component storage means according to the answer contents from the orderer to the performance rank table.



(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開2001-297232

(P2001-297232A)

(43)公開日 平成13年10月26日(2001.10.26)

(51)Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テ-マコード*(参考)
G 0 6 F 17/60	3 1 8	G 0 6 F 17/60	3 1 8 G 5 B 0 4 9
	Z E C		3 1 8 H
	3 0 2		Z E C
			3 0 2 A

審査請求 有 請求項の数 8 O L (全 9 頁)

(21)出願番号 特願2000-113380(P2000-113380)

(22)出願日 平成12年4月14日(2000.4.14)

(71)出願人 000004237

日本電気株式会社

東京都港区芝五丁目7番1号

(72)発明者 押本 敦

東京都港区芝五丁目7番1号 日本電気株式会社内

(74)代理人 100093838

弁理士 小橋川 洋二

Fターム(参考) 5B049 AA01 AA02 BB07 BB11 CC02

CC05 CC10 CC11 DD01 DD05

EE00 EE05 EE31 FF03 GG02

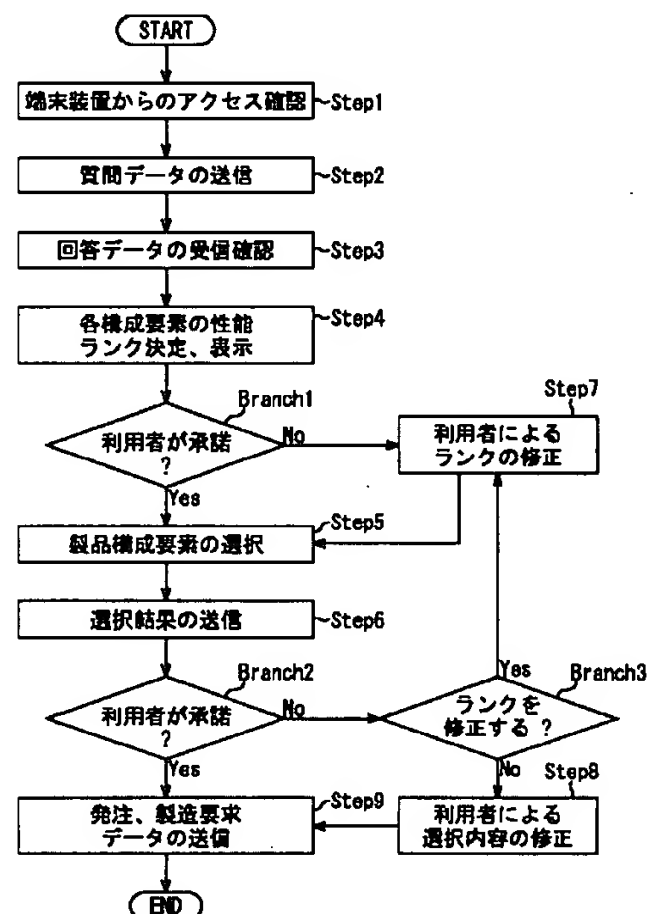
GG04 GG07

(54)【発明の名称】 複数の構成要素を持つ製品の受注システム

(57)【要約】

【課題】 パソコンの構成要素の詳細知識が無くても該構成要素を個別指定して購入し、パソコンの組立完成が可能な受注システムを提供する。

【解決手段】 パソコンの構成要素毎の情報を記憶した構成要素情報記憶手段(データベース)と、発注者からのアクセスに対し、パソコンに関する質問情報を送信する質問情報送信手段(質問データ送信機能)と、該質問情報に対する発注者からの回答内容に基づき、該回答内容に適応した最適な構成要素の性能の構成要素ランク表を作成する性能ランク表作成手段(選択目安尺度推定機能)と、該性能ランク表に対する発注者からの回答内容に基づいて、発注者の希望に対応した最適な構成要素を、構成要素記憶手段より選択する最適構成要素選択手段とを備えた。



【特許請求の範囲】

【請求項 1】 複数の構成要素からなるコンポーネント製品の構成要素毎の情報を記憶した構成要素情報記憶手段と、

発注者からのアクセスに対し、前記コンポーネント製品に関する質問情報を送信する質問情報送信手段と、

該質問情報送信手段からの質問情報に対する発注者からの回答内容に基づき、該回答内容に適応した最適な構成要素の性能の構成要素ランク表を作成する性能ランク表作成手段と、

該性能ランク表に対する発注者からの回答内容に基づいて、発注者の希望に対応した最適な構成要素を、前記構成要素記憶手段より選択する最適構成要素選択手段とを備えたことを特徴とする複数の構成要素を持つ製品の受注システム。

【請求項 2】 前記最適構成要素選択手段は、前回に発注者に送信した最適な構成要素に対する前記発注者からの変更要求を受け、該変更要求に対応した最適な構成要素を選択する代替最適構成要素選択手段を備えたことを特徴とする請求項 1 記載の複数の構成要素を持つ製品の受注システム。

【請求項 3】 前記性能ランク表には、少なくとも前記コンポーネント製品の完成コンポーネント製品の参考価格を含むことを特徴とする請求項 1 または請求項 2 記載の複数の構成要素を持つ製品の受注システム。

【請求項 4】 発注者との間で最適構成要素が決定された後、該最適構成要素を管理する部門に発注する第 1 構成要素発注手段を備えたことを特徴とする請求項 1 乃至請求項 3 の何れか一つに記載の複数の構成要素を持つ製品の受注システム。

【請求項 5】 発注者との間で最適構成要素が決定された後、該最適構成要素を製造する部門に発注する第 2 構成要素発注手段を備えたことを特徴とする請求項 1 乃至請求項 3 の何れか一つに記載の複数の構成要素を持つ製品の受注システム。

【請求項 6】 発注者が発注依頼を行う手段は端末装置であり、該端末装置および請求項 1 乃至請求項 5 に記載の複数の構成要素を持つ製品の受注システムを、ネットワークに接続してなることを特徴とする請求項 1 乃至請求項 5 の何れか一つに記載の複数の構成要素を持つ製品の受注システム。

【請求項 7】 前記コンポーネント製品は、パーソナルコンピュータであることを特徴とする請求項 1 乃至請求項 6 の何れか一つに記載の複数の構成要素を持つ製品の受注システム。

【請求項 8】 前記コンポーネント製品は、旅行代理店が提供する行き先別フリーツアー商品であることを特徴とする請求項 1 乃至請求項 6 の何れか一つに記載の複数の構成要素を持つ製品の受注システム。

【発明の詳細な説明】

【 0 0 0 1 】

【発明の属する技術分野】本発明は、複数の構成要素を持つ製品の受注システムに関し、特に CPU、マザーボード、ソフトウェア等の構成要素を発注者が個別指定してに発注し、発注者側で完成品への組み立てを行うパーソナルコンピュータに最適な複数の構成要素を持つ製品の受注システムに関する。

【 0 0 0 2 】

【従来の技術】例えばパーソナルコンピュータ（パソコン）とよばれる卓上型、もしくは持ち運び型の汎用計算装置は、近年になって完成品としての形態だけではなく、装置の構成要素（完成した単位装置）である CPU 回路、主記憶装置としてのメモリ回路、補助記憶装置としての磁気記録装置、CRT に代表される計算結果出力のための表示装置、そしてこれらの動作を統括制御するための主制御回路などの夫々を、完成した単位装置（全ての構成要素を組立完了したパソコンからみれば半完成品）として販売した上、それらを組み合わせるサービスを付加することでパソコンとしての販売を実現することが多くなってきた。ここに、パソコンを「コンポーネント製品」と称し、CPU 回路、メモリ回路等を「構成要素」と称する。即ち、パソコンは複数の構成要素を備えたコンポーネント製品である。

【 0 0 0 3 】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、前述の販売形態では、販売する側だけでなく購入する側にも構成要素の詳細を熟知する必要があるが、その知識の習得は容易ではない。従って、コンポーネント製品を安価に提供できる反面、この販売形態を利用できる人はパソコンのハード面・ソフトウェア面の高度な知識を有する人に限られ、それがコンポーネント製品（パソコン）の普及を妨げる 1 つの大きな要因になっている。

【 0 0 0 4 】そこで本発明の課題は、パソコンに代表される複数の構成要素を持つコンポーネント製品を対象とし、構成要素の詳細知識が無くてもこの構成要素を個別指定して購入し、コンポーネント製品の組立完成が可能な複数の構成要素を持つ製品の受注システムを提供することである。

【 0 0 0 5 】

【課題を解決するための手段】前記課題を解決するために本発明は、複数の構成要素からなるコンポーネント製品の構成要素毎の情報を記憶した構成要素情報記憶手段（図 2 のデータベース 1 6）と、発注者からのアクセスに対し、前記コンポーネント製品に関する質問情報（図 5 の質問画面）を送信する質問情報送信手段（図 3 の質問データ送信機能）と、該質問情報送信手段からの質問情報に対する発注者からの回答内容に基づき、該回答内容に適応した最適な構成要素の性能の構成要素ランク表を作成する性能ランク表作成手段（図 3 の選択目安尺度推定機能）と、該性能ランク表に対する発注者からの回

答内容に基づいて、発注者の希望に対応した最適な構成要素を、前記構成要素記憶手段より選択する最適構成要素選択手段（図3の最適構成要素選択機能）とを備えたことを特徴とする。

【0006】また、前記最適構成要素選択手段は、前回に発注者に送信した最適な構成要素に対する前記発注者からの変更要求を受け、該変更要求に対応した最適な構成要素を選択する代替最適構成要素選択手段（図3の最適構成要素選択機能）を備えたことを特徴とする。

【0007】このようにすれば、コンポーネント製品（例えばパソコン）の発注者は、パソコン販売センター等（図1の受注システム10）からの図5に示す質問情報を受け取り、選択欄に自分が希望する項目をチェックし、受注システム10に返送する。受注システム10では、発注者の希望項目に応じて性能ランク表作成手段が希望に沿った性能ランク表（図6(A))を作成し、発注者に返送する。発注者は自分のパソコンの用途等に応じてこの性能ランク表（図6(A))を検討し、構成要素に対するランクを修正・指定して、受注システムに送信する（図6(B))。従って、パソコンの発注者は、パソコンのハード面・ソフトウェア面を熟知していなくても、発注者自身の要望に適ったパソコンの構成要素を入手することが可能となる。

【0008】

【発明の実施の形態】以下、本発明を図示の実施例に基づいて説明する。以下の実施例では、コンポーネント製品として最も代表的なパソコンを受注の対象とする。なお、本発明で受注の対象とする製品とは、以下の条件を満たすものとする。

①コンポーネント製品を構成する全ての種類の構成要素が、それ単独で一製品として一般に販売されていること。

②なお、コンポーネント製品は、完成品の形態として販売されていてもよい。

【0009】（1）第1実施例

図1は本実施例のシステム構成図、図2は同システムを構成する補助記憶装置の構成図、図3（A）、（B）は該補助記憶装置を構成するインタフェースソフトウェアおよび要素選択ソフトウェアの構成図である。図1～図3に示すように、パソコン受注システムPはサーバ装置（受注システム）10と、「ネットワーク」であるコンピュータネットワーク20と、顧客（発注者、利用者）が備える端末装置30と、「第1構成要素発注手段」である部品発注システム40と、「第2構成要素発注手段」である製造要求システム50とを備える。

【0010】サーバ装置（受注システム）10は、CPU回路11、主記憶装置12、補助記憶装置13、表示装置14、ネットワークモデム15を備える。補助記憶装置13には、サーバ装置10を稼働させるためのシステムソフトウェア17の他、受注システムソフトウェア

18、受注対象の製品およびその構成要素の詳細を記録した「構成要素情報記憶手段」であるデータベース16が保管されている。

【0011】受注システムソフトウェア18は、図3（A）、（B）に示すように、インタフェースソフトウェア18aと要素選択ソフトウェア18bを備える。インタフェースソフトウェア18aは、主に端末装置30に注文情報入力のための質問データを送信し（図3

（A）参照、質問データ送信機能が「質問情報送信手段」に相当する）、利用者（発注者）により端末装置30から入力された回答情報を取り込む機能および利用者の決定した発注内容（図7参照）を部品発注システム40および製造要求システム50に発注内容を送信する機能など、ネットワーク20に接続された外部システムとの通信を行う。要素選択ソフトウェア18bは、端末装置30から取り込んだ回答情報をもとにデータベース16と照合を行い、製品の構成要素の選択を行う（図3（B）参照）。

【0012】システムソフトウェア17、受注システムソフトウェア18は、サーバ装置10の起動時に補助記憶装置13から呼び出され、主記憶装置12に常駐するが、稼働中はデータベース16の検索および読み込みを除いて、補助記憶装置13からのデータの読み書きは基本的に行われないものとする。

【0013】本実施例における受注対象製品であるパソコンの構成要素としては、主制御回路としてのマザーボード、主要演算回路としてのCPU、主記憶装置としてのメモリ回路、補助記憶装置としての固定磁気ディスク装置ならびに光ディスク装置、電源回路、そしてこれらを全て組み合わせる機構上の土台となる筐体が必須項目として挙げられ、また任意項目としてはディスプレイ装置、各種インタフェース回路などが挙げられる。

【0014】これら構成要素の種類の特徴を考慮すると、データベース16の構成は、例えば以下の記述もしくは図2、図3に示した如くなる。データベース16は、構成要素の各種類別のテーブル70～7nより構成される。各テーブル7nは各品種の詳細を記述するレコード700～7nmをもつ。各レコードは、メーカー名、型式、価格など全てのテーブルにおいて共通の項目と、回路の実装形式や使用インタフェース、仕様など夫々が属する各テーブルにより異なる項目からなる。

【0015】各構成要素のテーブルの例を以下に示す。どの構成要素であっても、テーブルを構成する項目の種類や数が異なるだけで、基本的なテーブルの作成方法は同じである。但し、データ名に使われている規格名称は西暦2000年2月現在慣例的に使われていたものを用いており、メーカー名と型式は一部を除き架空である。また、価格帯のデータについては各種類ごとの相対値で示してある。実際の価格比とは異なるが、数字が大きいほど高価という目安になる。

【 0 0 1 6 】

①マザーボード

メーカー	型式	対応ソケット	制御回路	価格帯
ネック	N 6 D - 8 4 0	Slot 1 × 2	i 8 4 0	5
ネック	N 6 - 8 2 0 R	Slot 1	i 8 2 0	3
ネック	N K 7 - 7 5 0	Slot A	A M 7 5 0	2
テラノ	T R C - M	P G A 3 7 0	i 8 1 0	2
テラノ	T R 1	Slot 1	4 4 0 B X	3
テラノ	T R A	Slot A	K X 1 3 3	2

上記の他、基板形状、メモリ規格などがデータ項目に含まれる。

【 0 0 1 7 】

②C P U :

メーカー	型式	対応ソケット	周波数	価格帯
Intel	Pentium 3	Slot 1	800	5
Intel	Pentium 3	P G A 3 7 0	500	3
Intel	Celeron	P G A 3 7 0	500	2
AMD	Athlon	Slot A	800	4
AMD	k 6 - 2	Super 7	400	1

【 0 0 1 8 】

③メモリ :

メーカー	型式	容量	規格	価格帯
メルキオール	R 8 0 0	1 2 8 M B	R I M M	5
メルキオール	R 8 0 0	6 4 M B	R I M M	3
メルキオール	D 1 3 3	1 2 8 M B	D I M M	2
メルキオール	D 1 3 3	6 4 M B	D I M M	1
メルキオール	D 1 0 0	1 2 8 M B	D I M M	1

【 0 0 1 9 】次に、本受注システムの動作を図 4 のフローチャートを参照して説明する。まず、パソコンの利用者（発注者）が端末装置 3 0 を用いて受注システム 1 0 に接続すると（Step 1）、受注システム 1 0 は端末装置 3 0 に、利用者が必要としている製品の概要に関する質問データを送付する（Step 2）。質問の内容は、図 5 に示すように、主な用途、購入予算、重視する項目、設置予定場所の概略、見た目の好み、年齢層、および共同使用者の有無、既にパソコンを所有している／いない、使用している通信回線等の種類（一般公衆回線、I S D N、ケーブル T V）、無線接続の希望有無など、製品の仕様よりはむしろ、利用方法や利用環境を重視した内容である。回答は数項目の選択肢から選ぶ形式が望ましい。

【 0 0 2 0 】利用者は端末装置 3 0 から、質問に対する回答を入力し、受注システム 1 0 に対してその内容を送付する。受注システム 1 0 がこれを受信すると（Step 3）、まず構成要素選択のための目安となる尺度、例え

ば各要素の性能を相対的に示す性能ランクを利用者からの回答から推定し（図 3（A）、選択目安尺度推定機能が「性能ランク作成手段」に相当する）、これを利用者に一度提示する（図 6（A））（Step 4）。利用者がこの結果を了解したら（Branch 1）、受注システム 1 0 は構成要素選択ソフトウェア 1 8 を起動して、回答内容およびデータベース 1 6 から最適な構成要素の組み合わせを選択し（図 3（B）の最適構成要素選択機能が「最適構成要素選択手段」に相当する）（Step 5）、結果を利用者の端末装置 3 0 に送信する（Step 6）。逆に、性能ランクの提示に不満があれば、利用者が提示内容を直接編集した上で（図 6（B）参照）（Step 7）、了解の応答を受注システムに送信することになる。

【 0 0 2 1 】ここで、利用者が送信した回答データに基づき、データベース 1 6 に登録された構成要素の組み合わせを選択するための手順につき説明する。本実施例では簡単のため、質問を「見た目の好み」、「主な用

途」,「購入予算」の3種とする(図5)。

【0022】利用者のイメージする製品の特徴を決定する要因は、「主な用途」,「見た目の好み」,「購入予算」という順番で高くなる。このため、選択の順番としてはインストールするアプリケーションが第1、CPUとマザーボードが第2、筐体が第3、その他が第4となる。「主な用途」の質問では、パソコンを利用する主な目的を1つ以上利用者に選んで貰う形とする。その選択肢は例えばワードプロセッサ、表計算、データベース処理、ホームページ作成、3Dゲーム、グラフィックデザイン、ビデオ編集、音楽データ編集、ソフトウェア開発などである(図5参照)。

【0023】「見た目の好み」の質問では、従来のオンラインカタログのように筐体の外観と型番を画面表示し、その中から利用者に選んで貰う形とする。「購入予算」の質問では、利用者がイメージしている製品の価格のイメージ、もしくは購入予算を入力して貰う。但し、用途に対して必要とされる製品の最低価格はほぼ決まってしまうので、この回答結果はあくまでも構成要素選択に対しては目安だけとする。

【0024】まず、「主な用途」の質問の回答に基づき、用途別のアプリケーションを選択する。更に、用途に見合うスペックを満たすマザーボードとCPU、そして用途に対して選択範囲が絞られやすい周辺機器の性能ランク(図6(A)参照)を、5段階なら1~5の数値として求める。ここで言う性能ランクは、処理速度の速さ、拡張性の高さ、技術の先進性などの度合いを示したもので、これらは価格の安さと相対的に反対の指標と考えて良い。

【0025】例えば回答内容がワードプロセッサなどの文書作成であれば、製品を構成できる最も低い価格の要素が使用可能であるため、性能ランクは全ての構成要素で最低値の1となる。また、アプリケーションも汎用的なワードプロセッサのソフトウェアを選択すればよい。また周辺機器として安い価格帯のプリンタを提示しても良い。但し、同じ文書作成でも用途が出版デザイン寄りの場合は、文書作成ソフトを出版用のものに変更し、CPUの処理速度や画面出力回路の性能ランクを2ないし3に上げるなどの措置をとることになる。

【0026】これに対し、回答がグラフィックデザインの場合は、描画ソフトウェアの他にレンダリング処理のソフトウェアの選択が必要となるが、このソフトウェアは数値計算の性能が求められるためCPUの処理速度、とりわけ演算速度の速さに対して最高の性能ランク5を設定する必要がある。また画面出力回路も、解像度や同時発色数の面では最高の性能ランクが必要であるが、描画速度や信号処理速度の面では3Dゲーム目的の場合ほど高くする必要はないため、性能ランクは平均の3でよい。また、補助記憶装置の容量もある程度は必要だがビデオ編集用のものほど必要ではなく、アクセス速度もあ

まり必要ではないことから性能ランクは容量面で4、速度面では2でよいということになる。

【0027】このようにして得られた性能ランクを、構成要素別に利用者に提示する(図6(A))。CPUなら演算速度、マザーボードなら拡張性と技術の先進性、メモリなら容量といった具合である。これと合わせ、この性能ランクで製品を構成した場合の参考価格を提示する。利用者がこれを見て、予算と折り合いがつかないなどの理由で性能ランクを修正したい場合はその修正内容を受注システムに対して指示する(図6(B))。最終的に利用者が了承すれば、これによって決定された性能ランクに基づき、実際の製品の構成要素をデータベース16から選択する。例えば「拡張性の高さ」の性能ランクが高ければ、マザーボードの基板形状の規格も大型のものを選択するが、低ければ小型のものになる。「処理速度」の性能ランクが高ければ、品種が上位で動作周波数の高いものを、低ければ下位の品種で動作周波数が低いものになる。

【0028】また、マザーボードもその品種に見合った対応ソケットのものへ絞り込む。即ち、ここで選定されたCPUの対応ソケットとマザーボードの対応ソケットが一致しているかをチェックして、もし一致しておらず、かつ互換性もなければ、選択範囲の広い構成要素であるマザーボードを、CPUの対応ソケットに合うよう選択し直す。仮に一致していなくても、対応ソケットがSlot1のマザーボードと対応ソケットがPGA370のCPUのように互換性で吸収できるなら、構成要素にCPUアダプタを加えることとなる。

【0029】次に、性能ランクの高さによって選択範囲が大きく絞られる構成要素に見合った仕様になっているかどうかをチェックする。例えば用途がグラフィックデザインもしくは3Dゲームであるため画面出力回路に対して高い性能ランクが設定されている場合、画面出力回路の機能が内蔵されているタイプのマザーボードは選択できない。また用途がワードプロセッサで、メモリの「速度」の性能ランクが低く設定されている場合、RIMM規格のメモリ実装を必須とするマザーボードは選択できない。

【0030】逆に、データベース処理のようにメモリ速度に対する性能ランクが高い場合はそのマザーボードを優先的に選定した上で、他の構成要素の選択を行っていくこととなる。その他の構成要素については、選択されたマザーボードに関するデータベースのレコード内容を参照しながら、それに規格上合致し、かつ周辺機器の性能ランクに適合するものを適宜選んでいけばよい。

【0031】例えば、画面出力回路の選択をする場合、まず選択したマザーボードがどの規格(AGPもしくはPCIなど)に対応しているかをデータベース16から参照する。このとき、ディスプレイ回路の機能がマザーボードに内蔵されている場合は選択を行わない。それ以

外では通常、マザーボードと一致する規格のものから選択を行うが、一致するものがなくてもボードとマザーボードの両方が同一下位互換の規格を持っていれば選択の対象とする。

【0032】また、用途がビデオ編集で補助記憶装置の容量と速度の性能ランクが高い場合には、選択した補助記憶装置だけでなく、追加のインタフェース回路が必要な場合がある。この場合は、同じ規格のインタフェース回路が既に選択されているか、またマザーボードへの実装数がこの回路の追加により許容範囲を超えないかどうかを確認した上でインタフェース回路を同時に選択することになる。

【0033】以上のような手順で構成要素の選択が完了し、利用者の端末装置30に結果が表示されたら(図7)、利用者は得られた結果が満足できるかを判断し(Branch2)、OKならこの構成を承諾する返答を受注システムへ送信する。もし詳細な構成を変更したいのなら、性能ランクの再設定を行うか、それとも現在の結果を初期状態として従来の構成要素の選択システムへと移行するかを判断し(Branch3)、そこで利用者による修正を夫々行うこととなる(Step7, 8)。

【0034】このようにして製品の最終的な構成を決定し、その内容を受注システムに送信したら、受注システムは同じコンピュータネットワーク20に接続された部品発注システム40、および製品の組立工場内にある製造要求システム50に利用者からの製品の発注内容としてその情報を転送する(Step9)。

【0035】(2)第2実施例
前記第1実施例においては、対象製品をパソコンとして記述したが、製品は必ずしも有形のものである必要はなく、例えば旅行代理店が提供する行き先別フリーツアー商品にも応用することは可能である。

【0036】この場合、製品はフリーツアー商品、構成要素としては航空券、滞在先のホテル、および施設の利用予約、交通機関の利用などがあげられる。

【0037】本実施例においては、受注システムの構成そのものは第1実施例と同一であるが、コンピュータネットワーク20に接続される部品発注システム40や製造要求システム50は、航空券および交通機関、諸施設の予約発券システムに置き換えることができる。受注システムの動作はほとんど図3と同等である。まず、利用者が端末装置30を用いて受注システムに接続すると

(Step1相当)、受注システムは端末装置30に、利用者が必要としているツアーの概要に関する質問データを送付する(Step2相当)。質問の内容は、主な目的地、予算、滞在期間、利用したい施設、年齢層などとなる。

【0038】利用者は端末装置30から質問に対する回答を入力し、受注システムに対してその内容を送付する。受注システムがこれを受信すると(Step3相当)、回答内容およびデータベースから最適なツアープランを

選択し(Step5相当)、結果を利用者の端末装置30に送信する(Step6相当)。以上のような手順でツアープランの作成が完了し、利用者の端末装置30に結果が表示されたら、利用者は得られた結果が満足できるかを判断し、OKならこれを承諾する返答を受注システムへ送信する(Branch2相当)。もし詳細な構成を変更したいのなら、現在の結果を初期状態として従来の構成要素の選択システムへと移行し、そこで利用者による修正を行うこととなる(Step8相当)。

10 【0039】このようにしてプランの内容を決定し、その内容を受注システムに送信したら、受注システムは同じコンピュータネットワーク20に接続されたチケット発券システムや施設の予約システムなどに利用者からの発注内容にもとづいた情報を転送する(Step9相当)。

【0040】なお、前記各実施例には、従来の受注システムのような、利用者が製品の構成要素を直接選択し、入力、送信する機能も同時に持ち合わせることも可能である。また、前記第1実施例では有形なものとしてパソコンの場合を説明したが、例えばパーツを個別に発注して組み立てる自転車や自動車(例えば50CCの軽自動車)にも本発明を適用可能であるのは勿論である。

【0041】

【発明の効果】以上説明したように本発明によれば、利用者の要望から最適な製品の構成要素を推定する機能を設けることにより、従来利用者に必要だった製品の構成要素に関する詳細知識が不要となる効果がある。その効果により、従来の完成品形態の製品より安価な製品を初心者レベルの利用者に提供できるという相乗効果がある。

30 【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の実施例のシステム構成図である。

【図2】同システムを構成する補助記憶装置の構成図である。

【図3】同補助記憶装置を構成するインタフェースソフトウェアの機能を示す図である。

【図4】同実施例のフローチャートである。

【図5】同実施例において発注者に提示する質問画面である。

40 【図6】同実施例において発注者に提示する性能ランク表であって、(A)は発注者の希望に適應した回答案の性能ランク表、(B)は前記回答案に対する発注者の修正案の性能ランク表である。

【図7】発注者との意見交換の結果、最終的に決定した発注者への提示画面である。

【符号の説明】

P J パソコン受信システム

10 サーバ装置(受注システム)

11 CPU

12 主記憶装置

50 13 補助記憶装置

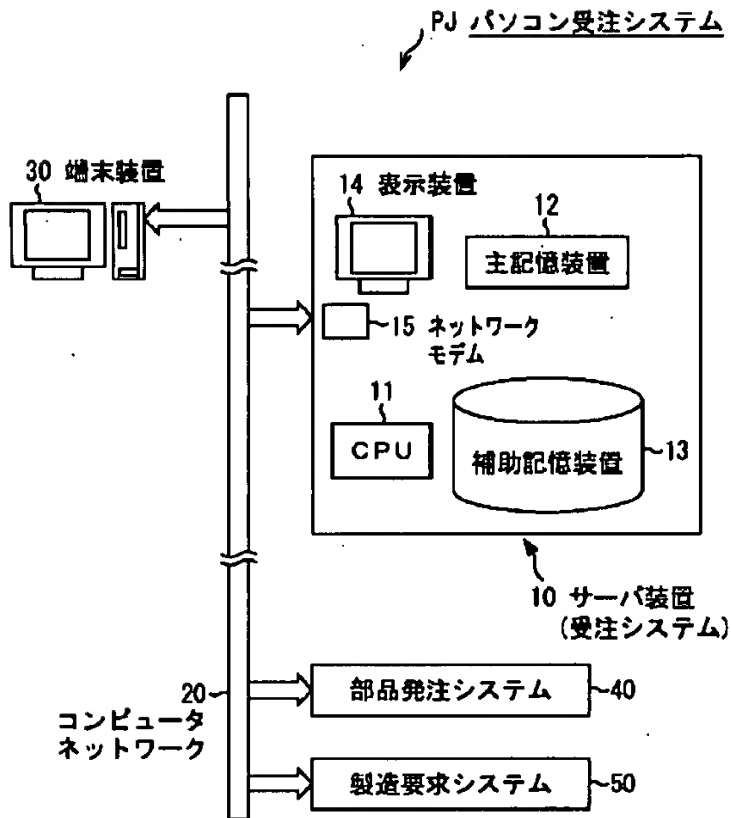
11

12

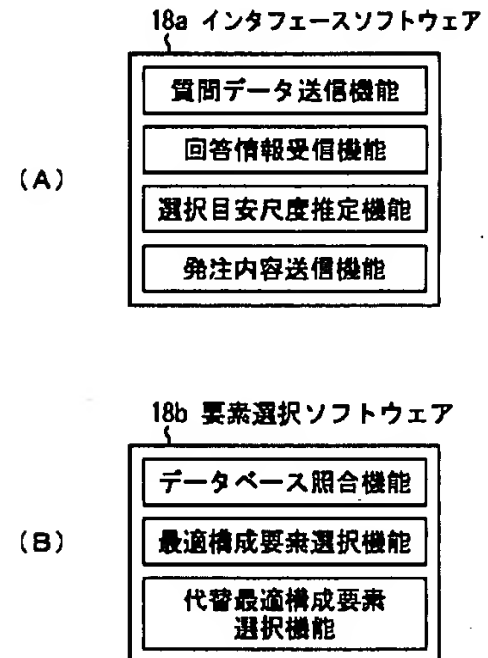
- 14 表示装置
- 15 ネットワークモデム
- 16 データベース
- 17 システムソフトウェア
- 18 受注システムソフトウェア
- 18a インタフェースソフトウェア

- 18b 要素選択ソフトウェア
- 20 コンピュータネットワーク
- 30 端末装置
- 40 部品発注システム
- 50 製造要求システム
- 700~70n 構成要素テーブルのレコード

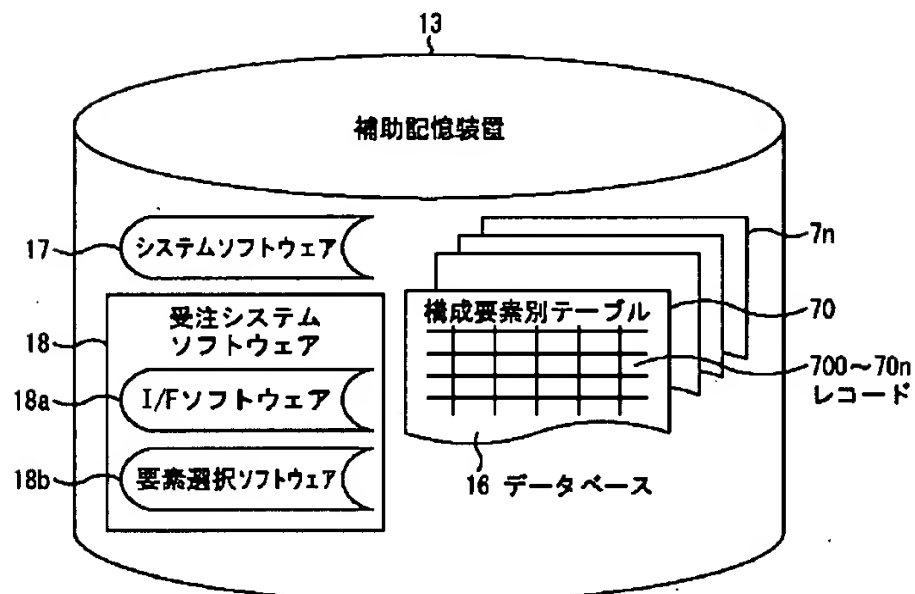
【図1】



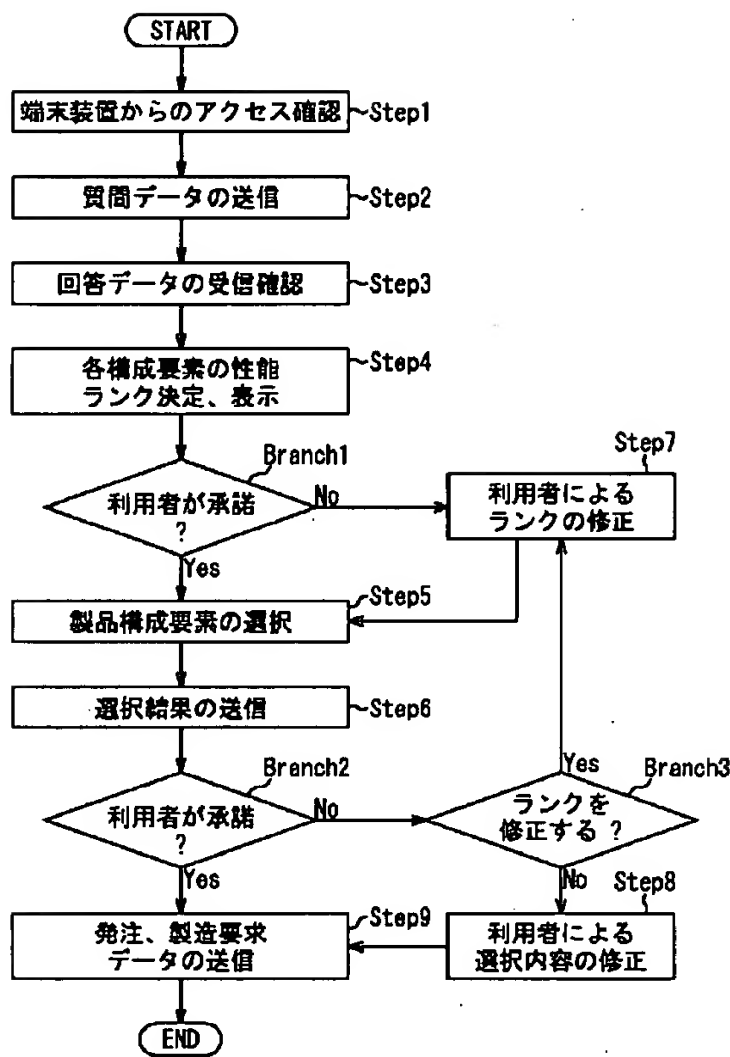
【図3】



【図2】



【図 4】



【図 5】

質問画面 (利用者に提示)		
項目	内容	選択欄
主 な 用 途	ワードプロセッサ	
	表計算	
	データベース処理	
	3Dゲーム	
	⋮	
購 入 予 算	10万以下	
	15万以下	
	20万以下	
	⋮	
重 視 す る 項 目	拡張性	
	⋮	
	⋮	
設 置 予 定 場 所	個室	
	共同部屋	
	⋮	
見 た 目 の 好 み	Aタイプ	
	Bタイプ	
	Cタイプ	
	⋮	
年 齢 層	10代	
	20代	
	30代	
	40代	
	50代	
	60代	
	70代以上	
共同使用者の有無	有	
	無	
パソコンの所持	有	
	無	
通 信 回 線 の 種 類	一般電話回線	
	ISDN	
	ケーブルTV	
無線接続の有無	有	
	無	

【図 7】

利用者への提示画面

構成要素	メーカー等				
	メーカー	型式	対応ソケット	制御回路	価格帯
マザーボード	メーカ	型式	対応ソケット	制御回路	価格帯
	テラノ	TRA	Slot A	KX133	2
CPU	メーカ	型式	対応ソケット	周波数	価格帯
	AMD	K6-2	Super 7	400	1
メモリ	メーカ	型式	容量	規格	価格帯
	メルキオール	R800	64MB	RIMM	3
⋮					

【図 6】

性能ランク表(利用者に提示)

(A)

構成要素	性能種別	性能ランク数値				
		1	2	3	4	5
CPU	速度	○				
マザーボード	先進性			○		
補助記憶装置	速度		○			
	容量		○			
画面出力回路	処理速度		○			
	バッファ容量			○		
⋮	⋮					
ソフトウェア	ワードプロセッサ	○				
	版下作成					
	3Dグラフィック					
	⋮					
完成品の参考価格:		180,000円				

性能ランク表(利用者の修正結果)

(B)

構成要素	性能種別	性能ランク数値				
		1	2	3	4	5
CPU	速度	○				
マザーボード	先進性	○				
補助記憶装置	速度		○			
	容量			○		
画面出力回路	処理速度	○				
	バッファ容量	○				
⋮	⋮					
ソフトウェア	ワードプロセッサ	○				
	版下作成					
	3Dグラフィック					
	⋮					
完成品の参考価格:		120,000円				